

防災かわら版

第7号

2019年8月吉日 発行

あなたの知識で防災・減災

令和元年度（2019年度）

とかち防災マスターネットワーク総会

令和元年度の通常総会が七月二五日、十勝管内から約三十名が出席し、とかちプラザ視聴覚室で開催されました。

総会で、大塚代表は「最近の異常気象の中、マスターの役割は大である。防災連携を強化し住民の防災意識向上につながるよう今後も努めたい」と挨拶されました。



続いて保前副代表を議長に選出し、議事に入りました。議事では、「平成三十年年度事業報告（総務部・事業部・研修部）平成三十年度決算及び会計監査が報告された後、議案の「令和元年度（二〇一九年度）事業計画案・（総務部・事業部・研修部）令和元年度予算案が諮られ原案通り全員一致で承認されました。」

令和元年度事業計画

【総務部】

- * ネットワークの会計事務全般
- * 黄色いレシートキャンペーンのPR
- * 配布資料の作成
- * 帯広市・音更町・幕別町の班連絡網を作成し連携を図っていく。

【事業部】

- * 総会後の懇親会
- * 令和元年度帯広市地域防災訓練参加
- * ホコテン
- * (炊き出し・防災用品の展示・煙体験等)

【研修部】

- * 「かわら版」発行
- * 防災研修等への対応、事前研修
- * 会員向け研修会の開催
- * 質疑応答では、「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」について、会員の皆さんの協力を得てお店に立ち、お客様からレシートを頂いてはどうかとの意見がありました。
- * 総務部からの返答では、以前お客様にお願いしてレシートを戴いたことがあったが、イオンの方から取り止めになったと説明がありました。

研修会 開催



総会に先立って、防災研修会が開催されました。当初、アドバイザーの水藤恒彦さんが「防災ウルトラクイズを説明する」と言う題目で研修をする予定でしたが、体調を崩された為、当会員の気象予報士高桑衣佳さん研修部長の佐藤春雄さんが研修されました。令和元年芽室町水害避難訓練の例を出し、「伝わるとは、何か」の題目で、伝える為に「発話の意味は聞き手が決める。自分が話した事が、自分の意図した通り伝わる為の、対象者分析・情報の取捨選択が必要。又伝える為には、事前準備（15〜20の準備をしても半分しか伝わらない）。実施案の作成をする等、伝える事の大切さ難しさを話されました。



平成30年度 1月～3月までの活動実績

月	日	活動内容	場所	参加者数 (マスター数)
1	25 (金)	十勝管内高校社会科教員研修	上士幌町生涯学習センター	13名 (2名)
1	26 (土)	平成30年度帯広市冬季防災訓練	帯広市立森の里小学校	184名 (3名)
1	26 (土)	平成30年度音更町冬季避難所宿泊体験訓練	音更町立緑南中学校	46名 (5名)
2	27 (水)	社会福祉法人真宗協会養護老人ホーム帯広信楽苑	養護老人ホーム帯広信楽苑	21名 (5名)

水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、
国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階※1に整理しました。

<避難情報等>

<防災気象情報>

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	【警戒レベル相当情報(例)】
警戒レベル5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。	災害発生情報 ^{※2} <small>※2 災害が発生していることを 把握した場合に、可能な範囲で発令 (市町村が発令)</small>	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思わ れる場合は、近くの安全な場所や、自宅内の より安全な場所に避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ^{※3} <small>※3 地域の状況に応じて緊急発令は 重ねて避難を促す場合に発令 (市町村が発令)</small>	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害の ある方、乳幼児等)とその支援者は避難を しましょう。その他の人は、避難の準備を 整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始 (市町村が発令)	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警戒 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 (気象庁が発令)	これらは、住民が自主的 に避難行動をとるために 参考とする情報です。
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 (気象庁が発令)	

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

【警戒レベル5】では既に災害が発生しています。また、必ず発令されるものではありません。

【警戒レベル3】や【警戒レベル4】で、

地域の皆さんで声をかけあって、安全・確実に避難しましょう。

内閣府 防災情報より

コラム 地震を予知した江戸時代の武士

一七〇三年江戸を襲った元禄地震では、
家屋の倒壊とその後発生した大火事により、
一説には死者が三万人を超える大災害になっ
たと伝えられている。この大惨事で「それ見た
ことか」とほくそえむ老人の姿があった。

老人の名は天野弥五右衛門長重八十三歳。
長重は、なんと大地震の発生を予知して、
大きな釘三百挺で家屋を耐震補強させていたのだ。
ほどなく元禄地震が起こり、多くの屋敷が大破したにもかかわらず、
長重の屋敷だけは無傷だった。どうして、
地震が予知できたかという問いに、
長重は、「大地震せんとは前方必天
ちかく見ゆる」と答えたとか。
大地震の前は、天(空)が間近に見える
というのである。

「天下大変―資料に見る江戸時代の災害」より

編集後記

会員のみなさまに於かれましては
各地域で御活躍の事と思います。

只今、NHK連続テレビ小説「なつぞら」
が十勝を舞台に放送されています。

広大な自然・夏空がやく十勝!

「かわら版」も夏空にしてみました。



逃げ遅れゼロへ!

防災情報はいろいろあるけど
いつ避難すればいいの?

警戒レベル 4 で全員避難!!

警戒レベルで避難のタイミングをお伝えします。

2019年の出水期(6月ごろ)より、
[警戒レベル]を用いた
避難情報が発令されます。
市町村から[警戒レベル3、4]が
発令された地域にお住まいの方は、
速やかに避難してください。



[警戒レベル5] (市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。

次のような内容で自治体から避難行動を呼びかけます!

呼びかけの一例

警戒レベル 4

避難勧告の
伝達文例

- 緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、避難開始。
- こちらは、〇〇市です。
- 〇〇地区に洪水に関する警戒レベル4、避難勧告を発令しました。
- 〇〇川が氾濫するおそれのある水位に到達しました。
- 〇〇地区の方は、速やかに全員避難を開始してください。
- 避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所に避難するか、屋内の高いところに避難してください。

警戒レベルととるべき行動を端的に伝えます

避難勧告の発令を伝えます

災害が切迫していることを伝えます

とるべき行動を伝えます